



清和

相手の目を見て
元気にあいさつ清和っ子
(児童会年間スローガン)

令和4年5月10日
第2号
鹿児島市立清和小学校

子供にとっての家族

校長 狩集 淳

令和4年度が始まり1か月が過ぎました。新型コロナウイルス感染症の拡大がまだまだ続き、予断を許さない状況の中での大型連休でしたが、ご家族そろって過ごす時間も少しは作れたのではないかと思います。

また、子供たちが事故・事件に巻き込まれず、元気に登校してくれたことにほっとしたところでした。

5月5日(木)の新聞で、「若者、家族の大切さ再認識」という見出しの記事がありました。鹿児島県が子供や若者を対象に昨年実施した意識調査で、新型コロナウイルス感染症拡大前(令和元年12月以前)に比べて、家族の重要性について「より意識するようになった」と答えたのが34.5%。新型コロナウイルス下で、3人に1人の子供・若者が家族の重要性を再認識したことがわかります。

また、別の質問で「自分の親(保護者)から愛されている」について「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えたのが計93%。「次の場所は居場所(ほっとできる場所など)になっているか」の質問で、「家庭」は91%で、「自分の部屋」(92%)に次いで高く、家族・親族とのかかわりについて「会話やメールをよくしている」が87%。いずれも、コロナ流行以前に実施された内閣府調査(2019年度)の数字を上回ったそうです。

多くのことに制限された生活を過ごすコロナ禍の下、身近な家族の大切さを感じた子供・若者が多くなったというのはうれしいニュースでありました。

ただ、現代はストレスに満ちていて、大人も悩んだり、行き詰ったりする時代です。もちろん子供たちもそうです。家族や家庭が、心が揺れ動いたときやつらいとき、そこに戻れば癒されるようなほっとする場、心身の安全地帯であってほしいです。



『鹿児島県「新しい生活様式」を徹底しましょう』から抜粋

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い

人との距離は、できるだけ2m（最低1m）空ける。

- ☐ 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- ☐ 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- ☐ 外出時、室内にいるときや会話をするときには、症状がなくてもマスクを着用する。
- ☐ 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える。シャワーを浴びる。
- ☐ 手洗いは、30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

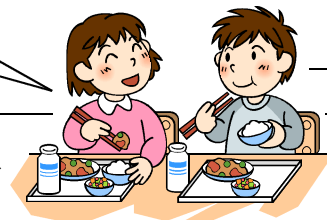
保護者面談、始まりました。

コロナ禍で、学年初めの学級懇談会も中止となり、なかなか保護者の方にもお会いする機会が少ない状況が続いております。

この保護者面談を通して、学校と家庭で連携して子供たちの教育に当たっていきたいと思います。学校で気になることや担任に知っておいてほしいこと、ご家庭での様子などもお聞かせいただけるとありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。



現在、こういう光景は見られません。



18日(月)から1年生の給食も始まり、少しずつ学校生活に慣れてきつつあります。保育園や幼稚園での生活リズムから徐々に小学校生活に向かうスタートカリキュラムを意識しながら子供たちができるだけ自然に小学校生活に慣れていってこれればいいなと思います。

とはいえ、コロナ禍で対面での給食はもちろん、会話もままならず黙々と食べている状況は、まだまだ異常です。感染症の一日も早い収束を願うばかりです。

5月の連休明けは、次第に暑さも増し、登下校時のマスクの着用や熱中症対策等、冬場とは異なる配慮が必要となってきます。衣服の調節など、子供たちへの声かけをよりいっそう大切にしていきたいものです。

5月行事

14日(土)	土曜授業
17日(火)	体力テスト(5・6年)
30日(月)	心臓検診(1年生)

